

脳神経センター 内科部門（神経内科）

1. スタッフ（平成23年4月1日現在）

科 長（教授）	中野 今治
副科 長（准教授）	藤本 健一
外来医長（講師）	川上 忠孝
病棟医長（学内講師）	嶋崎 晴雄
医 員（学内准教授）	池口 邦彦
（特命教授）	村松 慎一（兼務）
（講 師）	森田 光哉
（学内講師、医局長）	滑川 道人
（特任講師）	菱田 良平（派遣）
病院助教	澤田 幹雄
	安藤 喜仁
	秋本 千鶴
	中村 優子
	中尾 紘一（派遣）
	亀田 知明
シニアレジデント	5名

2. 診療科の特徴

神経内科の対象疾患は、脳血管障害、神経感染症、神経変性疾患、神経免疫疾患、機能的疾患（頭痛、てんかんなど）、末梢神経疾患、筋疾患と多岐にわたる。人口の高齢化を反映し、受診患者数は年々増加している。現在、神経内科外来は毎日4診で、平均約100名が外来受診し、うち約1割が新来患者である。病棟は7階西病棟に51床あり、年間800名弱の入院患者を受け入れている。脳血管障害や脳神経感染症、てんかん重積発作といった緊急入院の比率が9割を超え、まさに地域医療の拠点病院としての面目躍如であろう。

この10年間で神経内科は「治療法のない神経内科」から「治療可能な神経内科」へと、大きく変化した。それに伴い、診療内容も以前と比して、かなり忙しくなった。脳神経センター・内科でも最新の治療を患者に還元すべく、日々新たな挑戦を続けている。この1年間では、痙縮に対する「ボツリヌス毒素治療」、および「髄腔内パクロフェン療法」が新たな治療として加わった。

施設認定：

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本神経学会教育施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院

学会専門医：

- 日本神経学会認定専門医：中野 今治 他17名
- 日本内科学会認定内科専門医：池口 邦彦 他4名

- 日本脳卒中学会認定専門医：菱田 良平
- 日本東洋医学会漢方専門医：村松 慎一
- 日本人類遺伝学会専門医：森田 光哉、嶋崎 晴雄
- 日本プライマリケア学会専門医：手塚 修一
- 日本老年精神医学会専門医：中野 今治
- 日本リハビリテーション医学会認定医：村松 慎一、森田 光哉

3. 診療実績・クリニカルインディケータ

3-1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

- 外来新来患者数：1,560人
- 再来患者数：18,686人
- 紹介率：62.8%

3-2) 入院患者数（病名別）

入院患者総数：777人

入院患者病名一覧：

- | | |
|----------------|------|
| 1) 脳脊髄血管障害： | 341例 |
| 2) 感染症・炎症性疾患： | 33例 |
| 3) 神経変性疾患： | 151例 |
| 運動ニューロン病 | 57例 |
| パーキンソン病関連疾患 | 51例 |
| 脊髄小脳変性症 | 17例 |
| 認知症 | 17例 |
| 4) 脱髄疾患： | 46例 |
| 5) 代謝・中毒性疾患： | 18例 |
| 6) 腫瘍性疾患： | 2例 |
| 7) 内科疾患に伴う神経疾患 | 12例 |
| 8) 脊髄疾患 | 15例 |
| 9) 末梢神経疾患 | 58例 |
| 10) 筋疾患： | 34例 |
| 11) 機能的疾患： | 49例 |
| 12) その他： | 20例 |

3-3) 手術症例病名別件数：

- | | |
|------------|-----|
| 胸腺摘除術： | 6例 |
| 内視鏡的胃瘻造設術： | 11例 |
| 気管切開術： | 7例 |
| 椎弓切除術： | 1例 |
| 膀胱腫瘍切除術： | 1例 |
| 眼球内容摘出術： | 1例 |

3-4) 主な検査・処置・治療件数

- | | |
|-------------|------|
| 電気生理学的検査 | |
| 末梢神経伝導速度検査： | 348件 |

同芯針筋電図：	123件
磁気刺激検査：	40件
生検	
筋生検：	10例
神経生検：	10例
リンパ節生検：	1例
脊髄髄外腫瘍生検：	1例
皮膚生検：	5例

3-5) クリニカルインディケーター

(1) 治療成績：

脳梗塞rt-PA静注療法：	15例
パーキンソン病深部電気刺激術：	5例

(2) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

<死亡退院症例診断名>

脳脊髄血管障害：	19例
感染症・炎症性疾患：	6例
運動ニューロン疾患：	2例
肺炎：	1例
計：	28例

<剖検症例診断名>

脳梗塞：	2例
筋萎縮性側索硬化症：	1例
神経梅毒：	1例
計：	4例

<剖検率>

14%

3-6) カンファランス

(1) 診療科内の症例検討会

- 1) 1月20日：CIDP-MGUS
- 2) 1月27日：神経サルコイドーシス
- 3) 2月24日：血管内リンパ腫
- 4) 3月17日：シェーグレン症候群の中樞病変
- 5) 3月24日：posterior cortical atrophy
- 6) 3月31日：CRPS type1
- 7) 4月14日：脳梗塞のrt-PA療法
- 8) 4月28日：脳性麻痺の不随意運動
- 9) 5月12日：CIDP (DADS)
- 10) 6月2日：末梢神経障害を伴ったADEM
- 11) 6月9日：高齢発症NMO
- 12) 6月23日：中枢神経限局性脳血管炎
- 13) 6月30日：細菌性髄膜炎+静脈洞血栓症
- 14) 7月7日：悪性リンパ腫の多発性脳神経麻痺
- 15) 7月14日：sensory CIDP
- 16) 9月29日：小脳失調を伴った神経梅毒
- 17) 10月13日：前庭性失調症
- 18) 10月20日：家族性片麻痺性片頭痛
- 19) 10月27日：再発性髄膜炎
- 20) 11月2日：抗体陰性MG

- 21) 11月10日：ギランバレー症候群
- 22) 11月17日：パーキンソニズムの腰曲がり
- 23) 11月24日：感覚失調性ニューロパチー
- 24) 12月1日：non-systemic vasculitic neuropathy
- 25) 12月8日：難治性破傷風

(2) 他科との合同

脳神経外科合同カンファランス：年2回
 整形外科合同カンファランス：年1回
 モーニングカンファランス：年13回

(3) 他職種との合同

リハビリカンファランス：年46回

(註) 病棟医、看護師、リハビリテーションスタッフ、ケースワーカーで毎週、入院患者全員のカンファランスを行っている。

看護師対象の病棟勉強会：年4回

(4) その他

神経内科セミナー：年1回
 頭頸部疾患研究会：年1回
 下野神経疾患研究会：年1回
 両毛神経内科研究会：年1回
 栃木脳疾患研究会：年1回
 薬師寺脳卒中研究会：年1回
 大脳基底核フォーラム：年1回
 栃木認知症研究会：年1回

4. 事業計画・来年の目標等

1) 脳血管障害

24時間rt-PA治療が施行できる体制が整備されたものの、未だその恩恵に預かれない患者が多い。脳卒中は一刻の猶予のない緊急症であることを、さらに近隣住民に啓蒙する必要がある。

2) 神経変性疾患

パーキンソン病については現在最高レベルの治療を提供できる医療機関であるが、アルツハイマー病や脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症などについても、最先端の検査・治療法の導入、およびそれらの開発に努めてゆきたい。